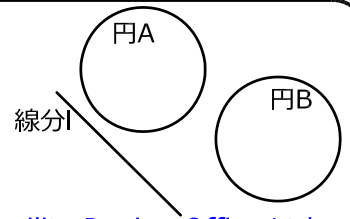


例題

半径が等しい、円Aと円Bがあります。

直線 l 上に中心があり、2つの円Aと円Bに接する円を作図してください。



Hanabusa Facility Desing Office Ltd.

解答例

コマンドを使って作図

<円Aの中心から円Bの中心まで線分を描く>

コマンド：[作成] ⇒ [線分]

1点目を指定：円Aの中心までカーソルを移動してクリックします。

次の点を指定：円Bの中心までカーソルを移動してクリックします。

線分mとします。①

<線分mの垂直二等分線を描く>

コマンド：[作成] ⇒ [構築線]

オプションの「角度」を使用します。

キーボードから「A」と入力して [Enter] キーを押します。

▽

オプションの「参照」を使用します。

キーボードから「R」と入力して [Enter] キーを押します。

線分オブジェクトを選択：ピクボックスを線分mに合わせてクリックします。

▽

構築線の角度を入力<0>：

キーボードから「90」と入力して [Enter] キーを押します。

通過点を指定：線分mにカーソルを合わせ（クリックしません）、

[Tab] キーを繰り返し押して、「中点」と表示されたらクリックします。

[Enter] キーまたは [Esc] キーを押します。

線分mの垂直二等分線を描くことができました。②

線分 l との交点をCとします。

<2つの円に接する円の半径を求める>

交点Cから円Bの中心点まで線分を描きます。

コマンド：[作成] ⇒ [線分]

1点目を指定：交点Cまでカーソルを移動してクリックします。

次の点を指定：円Bの中心点までカーソルを移動してクリックします。

線分BCと円Bとの交点をDとします。③

<2つの円に接する円を描く>

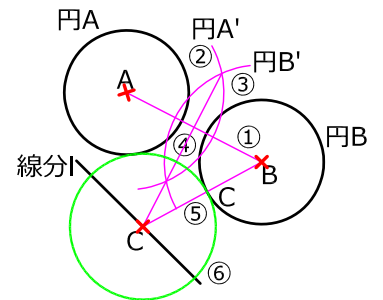
コマンド：[作成] ⇒ [円]

円の中心点を指定：カーソルを交点Cまで移動してクリックします。

円の半径を指定：カーソルを交点Dまで移動してクリックします。

半径をCDとする円が、円Aと円Bに接する円Cとなります。④ 終了

【作図】



円A = 円B

